

平成30年4月10日

松江市議会議長 森 脇 勇 人 様

松江市議会議員 野 津 直 嗣



平成29年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成29年度政務活動費収支報告書

松江市議会議員 野 津 直 嗣

1 収 入

政務活動費 275,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	103,300円	第9回子どもとメディア全国フォーラムほか
調 査 旅 費	136,215円	陸前高田市ほか視察
資 料 購 入 費	35,485円	書籍購入代
資 料 作 成 費	0円	
合 計	275,000円	

3 残 額 0円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。


(様式1-1)

平成29年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	
使途項目	研究研修費
使途内容	第9回子どもとメディア全国フォーラム及び福岡市視察
調査年月日 (購入年月日)	平成30年 2月 5日 (月) ~ 平成30年 2月 7日 (水)
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額 (うち政務活動費充当額)
	・旅費 60,880 円 60,880 円 ・参加費 4,000 円 4,000 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円
合計額	64,880 円 64,880 円
備考	

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	子どもとメディア全国フォーラム参加費
【貼付欄】 <p style="text-align: center;">領収証 野津直嗣 様 NO. 203 ¥4,000-</p> <p>但 第9回子どもとメディア全国フォーラム参加費(資料代含む)として、 特定非営利活動法人子どもとメディア  〒810-0023 福岡県福岡市中央区警固1-13-15 コスモ警固ロイヤルフォレスト404 TEL 092-724-6323 FAX 092-403-6262</p> <p>入金日2017年11月15日</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名

【野津直嗣】

領収書貼付用紙

使 途	旅 費
<p>【貼付欄】</p> <p style="text-align: center;">別 紙</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【野村直嗣】

領収証

Receipt

領収証No. 180109-1755-0003
ReceiptNo.

Received From
野津 直嗣 様

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

領収金額
The sum of
¥51,300 - (JPY)

領収日 2018.01.31
Receipt date

上記の金額正に領収いたしました。
The abovementioned sum of money is duly received.

但し
In payment of 航空パック 1/27出雲-福岡3550、1/29福岡-出雲3555、2泊朝食付

入金内訳 (Form of payment)

入金内訳 (Form of payment)	金額 (Payment)
■ 現金 (Cash)	¥51,300
小切手 (Check)	
銀行振込 (Bank remittance)	
クレジットカード (Credit card)	
旅行券 (Travel ticket)	
ギフト券 (Gift ticket)	
その他 (Other)	
合計金額 (Total)	¥51,300

東京都千代田区外神田 1 - 1 6 - 8

TOUR 株式会社農協観光
NOKYO TOURIST CORPORATION

発行店舗： 島根支店
(Office)

印

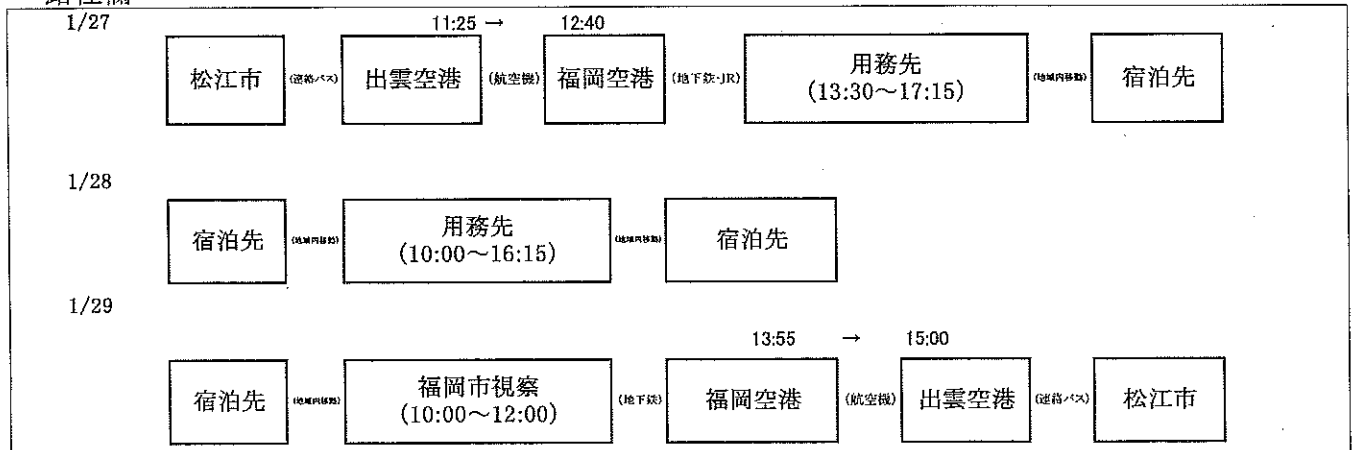
担当者印の無いもの並びに金額訂正のものは無効となります。
What amount of correction will be disabled as well as those with no indication personnel.

旅費計算書

議員名 野津 直嗣

用務先	なみきホール 他 (福岡市東区千早四丁目21-45)										
用務内容	第9回子どもとメディア全国フォーラム「スマホ社会と子どもの育ち」、福岡市議会視察										
出張期間 (出発及び帰市)	平成 30年 1月 27日 ~ 平成 30年 1月 29日 (2 泊 3 日)										
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額	
H30.1.27	土	松江市	福岡市	連絡バス 航空機 JR	1,130 31,700 490		0.5	1,100	1	10,900	
H30.1.28	日	福岡市	福岡市				1	2,200	1	10,900	
H30.1.29	月	福岡市	福岡市	JR 航空機 連絡バス	260 往路に含む 1,130		1	2,200			
		松江市		<ul style="list-style-type: none"> ・航空費:パック旅行利用(2泊朝食付き) ・旅行代金 パック旅行代金51,300円+食事代2,200円=53,500円 ・往復航空賃 旅行代金53,500円-宿泊料定額21,800円=31,700円(限度内) (限度額 51,300円) 							
小 計					33,580	0	2.5	5,500	2	21,800	
合 計		60,880			円	備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。 3. 変更は朱書すること。					

※ 路程欄



研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

- 1、期 間 平成30年1月27日(土)～平成30年1月29日(月)
- 2、会 場 等 なみきホール(福岡県福岡市)
福岡市議会議会棟(福岡県福岡市)
- 3、調査項目等 子どもとメディアに関する研修会参加
(27日午後13時30分～午後16時 / 28日午前10時～午後16時)
福岡市の起業家支援の取組みについて(29日午前10時～午前11時30分)
- 4、講師(対応者) ①第9回子どもとメディア全国フォーラム
②福岡市役所 商工産業局

5、調査内容・所感等

■子どもとメディア全国フォーラム(27日午後13時30分～午後16時)

開会のあいさつでは、WHOが2018年中に「ゲーム依存」を正式に病気として認定する事が報道されている。そうすると日本の厚生労働省でも正式に病気として認定され、今後より本格的に日本でも抜本的な対策が進むであろうとの挨拶があった。基調報告の清川氏の発言では、人口減少の中で一人一人の子どもの育ちがより大切になっていく。35歳以下の若者の死亡原因が自殺、また自殺率は世界でもトップクラスである、日本人の自殺者は34400人と報告があった。直近の日本の自殺者は2万1000人と3万人から下がったが、19歳以下の自殺は増えているという最悪の現実がある。つまり若者と子どもの自殺は増えている、それはなぜか?という大きなテーマで2日間シンポジウムを行いたい旨の発言があった。

子どもとメディアの調査結果では、「生きていてもしかなない」と感じる子どもはメディア接触が6時間接触の子どもは28%、メディア接触が2時間以下の子どもは14.9%と出た。

アメリカの調査結果でも、中高校生50万人を調査。2010年からの自殺の実体を調べた。スマホが爆発的に広がってから40%以上増えている。スマホとメディア接触の5時間以上で48%、1時間以下で29%メディアに長く接すれば接するほど、自殺願望が高まっているという事が因果関係として疑われている。日本では小中学校の不登校の実数は史上最多13万人を超えている。若者の自殺や将来の引きこもり問題を止められるかという課題を突き付けられている。トークセッションでは子どもの「朝」に異変が起きていること、入眠のタイミングが遅く、朝でもメラトニンの分泌が変化しないこと(つまり眠たい状態が続いている)ことなどが報告された。これは太陽の光を浴びない事により、昼と夜を脳が把握が取れていない

事が理由と考えられている。また脳科学の見地からは人間は、後頭部の脳から前頭葉にかけて成長をしていく、そしてその前頭葉の訓練自体が今、非常に遅れているとの報告があった。また小児眼科も視点からは裸眼視力の低下や立体視力の低下が著しいとの報告があった。ブルーライトが網膜を直接に傷つける事に対する直接的な影響も無視できないと報告があった。

2日目の特別講演では京都大学総長、山極氏の講演では、人類学の観点、類人猿としての観点から、人間の進化の過程を読み解いていく講演内容であった。人間（人類）にとっての特徴をゴリラやサルと比較しながら、人間にとって、進化してきたもの、大切に守られてきたものとは何か？という問いかけがあった。人間の暮らしの中にも、700万年から続く人類社会の遺伝子的なアプローチが非常に表れていると感じた。山極氏の講演の中で特徴的であったのは、人類学の観点からインターネットの出現により、「サル化」していく事が見て取れる。人間はルール化していくのが最も楽で、ルールから外れる人間を今度は許せなくなる。システムの変化に、人間を変化させてならない。知識はひとからひとへ得られるもの。インターネットで得られる知識はだれも、どこから見られるし、コンタクトできる。つまり誰でもどこでも同じ情報がある、これが情報のフラット化を生んでしまう。この情報のフラット化こそが、サル化していく理由の一つである。知識はひとの中に眠っている。外からは見えない。だからこそ知識や情報がひとの中に眠っているからこそ、その情報を得ようと「コミュニケーション」を取り、人間らしさを訓練できていける。そしてその「生きた」「違い」のある情報が出てきたものの違いを嗅ぎ分け、その「違い」を判断しようとする。だからこそ、情報の深さや違いに気づき、違いや気づきを、人間の根源的に持つ「共感力」によって、人間が持ってきた能力が活かされる。人間が人間である由縁がある。人類の歴史の進化において、人類は高い共感力を経てきた。知識だけでなく、状況や情報を、共感力やコミュニケーションで判断する「直感」で生きていける能力をもって、人間は生まれながら、遺伝的に持って進化してきた。だからこそそれこそ人間の特徴であり、それを捨て去ってはいけない。と力説され、非常に共感を得た。

人間の生きていく過程の中で、インターネット

現代は安心安全を高めないといけないと言われている。安全=安心だった。人間が信頼できたから。

我々は古来より人を介して、食物を得てきた。

食物が運んできた時代から、食物を信じるにはデータを信じるしかない。

今は、スーパーマーケットを信じるか、表記を信じるか。安心や安全を、個人がお金を出して買わなければいけなくなった。身体と身体が作り上げられてきた社会資本を、取り戻さなければならない。

科学が培ってきたICTは活用しなければならない。しかし身体、特に五感を通じたコミュニケーションをさらにやっつけていかなければならない。それは五感を人類の進化の過程の記憶をもつ、乳幼児～幼児の時が最も重要になる。そういった中では、豊かな自然が残る地方などは人間的な暮らしをする事にも価値がある事から、住民票を2つもつ、そんな大胆な二重生活を持ってもいいんじゃないか。人間の豊かな感性を導き出す。次世代を担う子供たちの感性を伸ばす地域を作る。その為の2居住生活をして良いのではないか。そう考えているとの発言があった。その後のトークセッションではゲーム依存に対する医学的なアプ

ローチから日本でも数少ないゲーム依存の治療を行っている。ここでは韓国のシンデレラ法など国によって大きく取組みが違ふ事が報告された。日本でもWHOの報告を受けて今後対策が進むように国へ要望したい旨の報告があった。

■「福岡市のスタートアップ支援の取組み」(29日午前10時00分～午前11時30分)

福岡市の取組みにおいては、国家戦略特区に選ばれた関係で様々な施策を投下できているとの報告があった。2年前に福岡市へ行った時には大手書店ツタヤと業務委託をして相談支援事業やスタートアップ事業を開始し、現在は小学校の廃校を利用したスタートアップ事業を展開していた。維持管理費・委託費として福岡市が9000万余を拠出して事業を展開していた。ただ福祉的な予算と違い、こういった事業で起業家を生む事でまた税収や雇用に繋がっている事から非常に費用対効果が高い事業であり、さすが福岡市の目玉政策であると感じた。松江市ではこの政策はない事からぜひ松江市でもこの取組みに向けて提言していきたいと感じた。


(様式 1 - 1)

平成 2 9 年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号		
使途項目	研究研修費	
使途内容	地域経済好循環拡大会議、全国若手市議会議員の会中国ブロック周南市研修会	
調査年月日 (購入年月日)	平成 3 0 年 2 月 5 日 (月) ~ 平成 3 0 年 2 月 7 日 (水)	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	(うち政務活動費充当額)
	支出額	
	・旅費 38,420 円	38,420 円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
	・ 円	円
合計額	38,420 円	38,420 円
備考		

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	旅費		
【貼付欄】			
<h1>乗 車 証 明 書</h1>			
平成 年 月 日			
野津直嗣 様			
一畑バス株式会社 島根県松江市西川津町1656-1 電話0852-20-5205			
取扱者 			
乗 車 日	平成 30 年 2 月 5 日		
路 線 名	松江広島線		
乗 車 区 間	松江しんじ湖温泉 松江駅 大塚駅 広島バスセンター 玉造 宍道 加茂 木次高速 広島駅新幹線口		
乗 車 人 数	3,900 円 × 1 人 = 3,900 円		
支 払 方 法	現金	乗車券	回数券
	船車券	その他	

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	旅費
<p>【貼付欄】</p> <p style="text-align: center;">乗 車 証 明 書</p> <p>路 線 <u>松 江</u></p> <p>料 金 ￥ <u>2,900円</u></p> <p>区 間 <u>広島～松江</u></p> <p>乗車人員 <u>1</u> 名</p> <p>PASPY 販売 ￥ <u>0</u></p> <p>チャージ ￥ <u>0</u></p> <p>上記のとおり発売したことを証明します</p> <p style="text-align: right;">平成 <u>30</u>年 <u>2</u>月 <u>7</u>日</p> <p style="text-align: right;">広島電鉄株式会社 広島北営業課 乗務員 XXXXXXXXXX</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名

【 野津直嗣 】

(様式 2)

旅費計算書

議員名 野津直嗣

用務先	広島県広島市 山口県周南市										
用務内容	・平成30年2月5日(月) 13:00~16:00 TKPガーデンシティ(広島市) 地域経済好循環拡大会議 「2018年度 国における地域活性化施策について」 ・平成30年 2月6日(火) 13:00~17:00 にぎわい交流館(周南市) 全国若手議員の会中国ブロック研修会 「周南市における公共事業適正化及び駅前再開発について」										
出張期間 (出発及び帰市)	平成 30 年 2 月 5 日(月) ~ 平成 30 年 2 月 7 日(水)							(2 泊 3 日)			
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路程	運賃等	特別料金	日数	定額	日数	定額	
H30.2.5	月	松江市	広島市	km 高速バス	3,900		1	2,200	1	10,900	
H30.2.6	火	広島市 広島市	広島市 周南市	JR 88.5	1,660		1	2,200	1	10,900	
H30.2.7	水	周南市 周南市	周南市	JR 88.5 高速バス	1,660 3,900		0.5	1,100			
		松江	松江								
小 計					11,120		2.5	5,500	2	21,800	
合 計					38,420	円	備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。 3. 変更は朱書すること。				

※ 路程欄

2/5	8:00発	松江駅	→	高速バス	11:09着	広島駅	→	13:00	16:00	YKPガーデンシティ(用務地)	→	広島市内(宿泊地)
2/6		広島駅	→	JR		徳山駅	→	13:00	17:00	にぎわい交流館(用務地)	→	周南市(宿泊地)
2/7		徳山駅	→	8:31発	広島駅	→	高速バス	11:51着		松江駅		

研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

1、期 間 平成 30 年 2 月 5 日（月）～平成 30 年 2 月 7 日（水）

2、会 場 等 ①地域経済好循環拡大会議（全国連絡会）広島県広島市
②全国若手議員の会中国ブロック研修会 山口県周南市

3、調査項目等 ①2018 年度 国における地域活性化施策について
②周南市における公共事業適正化及び駅前再開発について

4、講師（対応者） ①総務省・金融庁・中小企業庁・経済産業省・内閣官房・国交省の担当職員
②周南市 施設マネジメント課長・中村氏 他職員

5、調査内容・所感等

①広島市で行われた、国におけるサーキット型の 2018 年度の施策説明会が行われ議員として参加をしてきた。総務省地域魅力創造グループ地域政策課「ローカル 10000 プロジェクト」について、総務省自治税務局市町村税課「ふるさと納税のさらなる活用」について、総務省地域力創造グループ地域情報政策室「マイキープラットフォーム構想の推進」について、中小企業庁経営支援部創業・新事業促進課「創業支援事業施策及び国内販路開拓支援施策」金融庁監督局銀行第 2 課総務課協同組織金融室「地域金融の課題と金融庁の取り組み」について、総務省地域力創造グループ地域政策課地域自立応援課「地域力創造グループ施策」について、総務省地域創造力グループ地域政策室「自治体クラウドの促進と自治体情報セキュリティの強化」について、内閣官房情報通信技術 IT 総合戦略室「官民データ活用の全国展開」について、国土交通省観光庁観光地域振興部観光資源課「歴史的資源を活用した観光まちづくり」について、を学びました。あらゆる支援策を国が用意する中で、地方自治体が「やること」を本気で目指すことがあるのであるならば、国はほぼ全ての手段において、支援ツールが存在するという事も分かりました。松江市として自治体から一人も出ておらず、こういった他部署の市の財政への意識が良く分かります。この参加者がいなかったこと自体が松江市として、国の制度利用に関して深刻な事態である事も分かった。国においての積極的な制度活用は市民の貴重な直接財源を温存できるだけでなく、国や県との政策における無駄を省くことにもつながると考える。今回、学んだ 2018 年度の国の施策については、別途、議会の場で強く利用を促し、また自らの政策立案においても担保財源となるように調整していく。

②周南市における公共事業適正化においては、大きく 2 点を学んだ。1 点目は松江市も抱える「箱モノ」の処理問題。これは平成の大合併自治体の多くが、旧町村や旧市の頃に建てた箱モノの維持問題を抱え、公

共施設の廃止・見直しを含んで検討している全国的な流れであり、周南市も同じく漫画等で市民に分かりやすく公共施設の在り方や財源論について市民理解を得ていた。これは松江市も同じである。しかし周南市はうまく進まず、住民運動や議会での議決に影響を及ぼすまでになっていたことが印象的であった。松江市は初期の段階から丁寧に議論を進めたからこそ、今の公共施設の在り方も含めて、話がまだ前向きに進んでいるのだと改めて強く感じた。これは何より住民や議会形成において、初動が大切であるという事が言えるのだと強く学んだところである。2点目は、駅前の再開発の動きについてである。周南市も全国の他自治体同様に、中心市街地の活性化が課題でありながら、なかなか前に政策課題が解決できなかった。しかし、駅前の再開発を決意し、再開発の手段として「公共施設」である「市立図書館」を再配置し、スターボックスや TSUTAYA などとの連携により、一気に中心市街地への活性化に弾みをつけた。これは全国でもよくある、いわゆる「武雄スタイル」であるが、駅前の図書館には周南市の狙い通り子育て世代が駅前に多く集まるようになり、キッズライブラリーなども併設し、子育て環境の向上に役立っている事が非常に印象に残った。松江市でも同問題を抱え、「起爆剤」と「起爆コンテンツ」はなにであろうか?と考えると、エリアとしては、「塩見縄手エリア」「カラコロ工房」「松江テルサ」の一階、こういった既存ストックの活用などのリノベーションが最も効果的で可能性が高いと考える。また殿町の再開発に絡んでのお土産店の新規増設など民間の活力なども考えられる。今後、松江市の担当部局となる観光振興部と産業経済部と具体的な案をもって提案協議をしたいと考える。

(様式 1 - 1)

平成 2 9 年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	
使途項目	調査旅費
使途内容	島根UIターンフェア視察・松江を変えるプロジェクト人材募集説明会視察・市街地中心部の空き地及び空間の利活用について
調査年月日 (購入年月日)	平成 2 9 年 1 1 月 2 6 日 (日) ~ 平成 2 9 年 1 1 月 1 7 日 (月)
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額 (うち政務活動費充当額)
	・旅費 38,950 円 38,950 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円
合計額	38,950 円 38,950 円
備考	

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	旅費								
<p>【貼付欄】</p> <p>ANA A STAR ALLIANCE MEMBER</p> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p style="text-align: center;"><u>野津直嗣</u> 様</p> <p style="text-align: center;">¥ 32,880 (税込) (クレジット支払い ¥32,880含む;ユーシーカード)</p> <p style="text-align: center;">但し、旅客運賃料金として、 上記の金額正に領収致しました。</p> <p style="text-align: center;">全日本空輸株式会社</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td>1. 11月26日</td><td>ANA</td><td>382 便</td><td>米子⇒東京</td></tr><tr><td>2. 11月27日</td><td>ANA</td><td>387 便</td><td>東京⇒米子</td></tr></table> <p>購入日:17-11-17 発行所: 317*0000 発行日:17-11-26 TKT: 17F843</p> <p style="text-align: right;">本領収書は再発行不可となります。 端末番号: 3917 * 19785</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">印紙税申告納 付につき 税務署承認済</div>		1. 11月26日	ANA	382 便	米子⇒東京	2. 11月27日	ANA	387 便	東京⇒米子
1. 11月26日	ANA	382 便	米子⇒東京						
2. 11月27日	ANA	387 便	東京⇒米子						

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 野津直嗣 】

(様式 2)

旅 費 計 算 書

議員名 野 津 直 嗣

用務先	東京国際フォーラム(東京都千代田区) HAPON新宿(東京都新宿区) コミュニケーション236(港区南青山3-13)											
用務内容	・松江市のUIターン施策の現状現場の視察調査について ・松江市の地域おこし協力隊の募集イベントの視察調査について ・市街地中心部の空き地及び空間の利活用について											
出張期間 (出発及び帰市)	平成 29 年 11 月 26 日(日) ~ 平成 29 年 11 月 27 日(月)							(1 泊 2 日)				
旅 費 請 求 明 細												
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考	
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額		
H29.11.26	日	松江市	東京	km	航空機	22,500		日	円	日	円	パック料金
					京急	410		1	2,200	1	10,900	
H29.11.27	月	東京	東京		JR	160						
		東京	東京		JR	170						
		松江市			京急	410		1	2,200			
					航空機	往路に含む						
航空賃： パック旅行利用(1泊朝食付き) 旅行代金 = パック旅行代金32,880円+(食事代1,100円) = 33,980円 往復航空賃 = 旅行代金33,980円 - 宿泊料10,900円 - 旅客施設使用料580円 = 22,500円(限度内) (限度額 57,800円)												
小 計						23,650		2.0	4,400	1	10,900	
合 計						38,950	円	備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。 3. 変更は朱書すること。				

※ 路程欄

11/26	米子空港	→	羽田空港	→	品川駅	→	有楽町駅	→	東京国際フォーラム	→	HAPON新宿	→	宿泊地
	7:20発 ANA382		8:40着		京急		JR						
11/27	用務地	→	新宿駅	→	コミュニケーション236	→	渋谷駅	→	品川駅	→	羽田空港	→	米子空港
					JR		JR		京急		18:35発 ANA387		19:55着

研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

- 1、期 間 平成 29 年 11 月 26 日（日）～平成 29 年 11 月 27 日（月）
- 2、会 場 等 ①東京国際フォーラム（東京都千代田区）
②HAPON 新宿（新宿区・松江市地域おこし協力隊募集イベント）
③コミュニケーション 236（港区南青山 3-13）
- 3、調査項目等 ①松江市の UI ターン施策の現状現場の視察調査について
②松江市の地域おこし協力隊の募集イベントの視察調査について
③市街地中心部の空き地及び空間の利活用について
- 4、講師（対応者） ①ふるさと鳥根定住財団 奈良井氏、松江市産業経済部長 矢野氏
②松江市定住企業立地課
③現地視察の為、対応車おらず

5、調査内容・所感等

鳥根県が行うこのイベントは鳥根県が行う UI ターンフェアの中でも最大である。鳥根県は海士町、雲南市などの UI ターン者強豪自治体に支えられていること、またふるさと鳥根定住財団の取組みが功を奏している事は 9 月議会の一般質問でも詳細なデータを示し質問をした通りである。その UI ターン者のニーズやトレンドについて正確に分析するべく、実際の現場イベントに足を運び、ふるさと鳥根定住財団の担当者や、UI ターン者の方々と直接に話を聞いた。また鳥根県の事業に松江市としてどう関わり、他自治体と比べて積極的に獲得に動いているか？また上手にコミュニケーションを取れているか？問題点はなにか？なども調査した。

- 1、UI ターン者の地域回帰については相変わらずトレンドが高いこと。9 月議会で質問をした、ふるさと回帰型よりも、地域活性化型の人材の方が、地域間の激烈な獲得競争になっている事などをふるさと鳥根定住財団の職員の奈良井氏から聞いた。また奈良井氏からは松江市として積極的に先鋭的な事業を繰り出し、松江市は定住者にとって条件が良いというイメージを早く植え付ける事も大切であるとアドバイスも頂いた。
- 2、現場の UI ターン者の声では、やはり 90%を超える、ふるさと回帰型の人材が多く、一定の収入の仕事、また自分を活かせる仕事があれば鳥根に還ってみたいという声が多くあった（10 人ヒアリング）こういったマッチングの機会の簡素化や提供について、まだまだ行政としてアウトリーチできる環境にあるという事が非常に分かった。松江市としての定住希望者へのアウトリーチをもっと加速させね

ばならないと感じた。

3、松江市は一定の自治体の規模があるため、非常に先鋭的な事業が打ち出しにくく、会場の中でも非常に「ふるさと回帰型」の人材が非常に多い感じであった。松江市という枠の中で考えると、このふるさと回帰型をしっかりとマッチングする体制を作り、鳥根 UI ターンフェアに望むように今後提言する必要があると感じた。またブースの作り込み方も他自治体と比べてまだまだ熱量が低く、県都松江としてしっかりとプロモーションの必要性を感じた所である。ただ、2年前のUIターンフェアと違い松江市の地域おこし協力隊が非常に精力的に来場者に声をかけ、率先して松江市への移住を働きかけている事が非常に大きく嬉しかった事である。

4、その日に行われた新宿 HAPON での「松江市地域おこし協力隊募集イベントひかれあうもの」では、東京に住みながら松江に興味を持ってもらっている移住希望者の皆さんと意見交換をした。また松江市の地域おこし協力隊の来年度の状況についても視察を行ったところである。首都圏において、松江市の地域おこし協力隊になるというニーズもあり、来年度の松江市の地域おこし協力隊のメンバーとして参加者の可能性も感じた。採用や試験などを超えて、松江市に来られる皆さんなどと、あわせてまちづくりを行っていけるように行政の環境整備（全庁を挙げての支援体制やマッチング）などする必要を再度、強くした。

4、また翌27日は、新宿駅で松江市へのUIターン者の希望者に対して相談に乗り、都市部で空きスペースへ「コンテナ」等の簡易建物で空間を利活用し、都市部で注目を集めているコミュニティスペース「コミュン236」へ現地視察へ行ってきた。コンテナハウスや簡易的な建物などにより都市部の解体ビル跡地には若者が多く集まる公共空間ができており、松江市でも県立プール跡地やまた市立病院跡地（旧職員駐車場側）や、宍道湖の水辺（岸公園・白潟公園・千鳥公園・千鳥南公園など）で活用できるスペースが考えられる。コンテナの設置により、通常は建設や建築など長い期間に渡って安定した財源確保や利活用が求められ、利活用の判断が遅れる事があるが、こういったコンテナや軽微な建築でコミュニティスペースができる事によって、まちの賑わいが生むことができると考える。またこういった都市部の開かれた空間を使って、鳥根県や松江市の観光や定住等のPRイベントなども行う事ができると考える。

(様式1-1)

平成29年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	
使途項目	調査旅費
使途内容	首都圏アンテナショップ先進地視察(奥出雲町アンテナショップ)、島根県東京事務所、地産品プロデュース(HANX)
調査年月日 (購入年月日)	平成29年10月11日(水) ~ 平成29年10月12日(木)
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額 (うち政務活動費充当額)
	・旅費 47,440 円 47,440 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円
合計額	47,440 円 47,440 円
備考	

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	旅費
【貼付欄】	

イーコンテクト(インターネット受付) 領収書 (お客様控え)

発行日 2017年10月08日 時間 08時15分
店名 035275 松江春日店
申込No. 03527520171008081330
受付番号 252195
お客様氏名 野津直嗣 様
09046565414

お申込商品代金 41,540円

合計金額 41,540円



発行者
お問い合わせ先 :リアルチケット
電話番号 :092-771-0603
お問い合わせ受付時間 :09:30~18:00

メールアドレス :order-west@travelwest-fuk.com
ホームページ :http://travel-west.net

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 野津直嗣 】



ナツ ナオツグ

様

搭乗券
BOARDING PASS

保安検査場と搭乗口で2次元バーコードをタッチしてください。
Please touch this barcode at the security check and the gate.



ASTAR ALLIANCE MEMBER

米子
YONAGO



東京/羽田
TOKYO/HANEDA

10 / 11

07:20 発

08:40 着

便名 FLIGHT	搭乗口 GATE	保安検査場締切時刻 Security-Check Close Time	座席 SEAT
ANA 382	1	07:05	30K 窓側 WINDOW

搭乗口へは出発の10分前までにお越しください。 Please be at the boarding gate 10minutes before departure time.
(LSN: 3315)
DAF: 09OCT17 10/11 06:57 BP1 PNR: WBP7Z OR: 779EXM FARE: SG50K BN: 121



ナツ ナオツグ

様

搭乗券
BOARDING PASS

保安検査場と搭乗口で2次元バーコードをタッチしてください。
Please touch this barcode at the security check and the gate.



ASTAR ALLIANCE MEMBER

東京/羽田
TOKYO/HANEDA



米子
YONAGO

10 / 12

18:35 発

19:55 着

便名 FLIGHT	搭乗口 GATE	保安検査場締切時刻 Security-Check Close Time	座席 SEAT
ANA 387	71	18:20	19J 中央 CENTER

搭乗口へは出発の10分前までにお越しください。 Please be at the boarding gate 10minutes before departure time.
(LSN: 3364)
DAF: 09OCT17 10/12 17:44 BP1 PNR: 51TQ6 OR: E7B7KY FARE: SG50K BN: 149

(様式 2)

旅 費 計 算 書

議員名 野 津 直 嗣

用務先	東京都											
用務内容	首都圏アンテナショップ先進地視察(奥出雲町アンテナショップ)											
出張期間 (出発及び帰市)	平成 29 年 10 月 11 日(水) ~ 平成 29 年 10 月 12 日(木)							(1 泊 2 日)				
旅 費 請 求 明 細												
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考	
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額		
H29.10.11	水	松江市	東京	km	航空機	31,160		日	円	日	円	バック料金
					京急	410		1	2,200	1	10,900	
		東京	東京		JR	160						
H29.11.12	木	東京	東京		京急	410						
		松江市			航空機	往路に含む		1	2,200			
航空賃: バック旅行利用(1泊朝食付き) 旅行代金 = バック旅行代金41,540円+(食事代1,100円) = 42,640円 往復航空賃 = 旅行代金42,640円 - 宿泊料10,900円 - 旅客施設使用料580円 = 31,160円(限度内) (限度額 64,600円)												
小 計						32,140		2.0	4,400	1	10,900	
合 計						47,440	円	備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。 3. 変更は朱書すること。				

※ 路程欄

10/11	米子空港	→	羽田空港	→	品川駅	→	有楽町駅	→	「奥出雲×島根県」	→	宿泊地	
	7:20発 ANA382		8:40着		京急		JR		13:00		15:00	
10/12	島根県東京事務所用務地	→	HANX	→	品川駅	→	羽田空港	→	米子空港			
	12:00		14:00		15:00		16:30		京急		18:35発 ANA387	19:55着

研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

- 1、期 間 平成 29 年 10 月 11 日 (水) ～平成 29 年 10 月 12 日 (木)
- 2、会 場 等 奥出雲町 首都圏アンテナショップ「奥出雲×島根県」(東京都)
にほんばし島根館 (東京都)
- 3、調査項目等 先進地視察 (奥出雲町アンテナショップ)、地域要望 (島根県東京事務所)
地産品プロデュース (HANX プロデューサー・徳永憲二)
- 4、講師 (対応者) ①「奥出雲×島根県」殿本和宏・関東エリアマネージャー、山谷直久・店長
②島根県東京事務所・吉山所長、米原部長、土江職員 (松江市から出向)
③HANX・プロデューサー・徳永憲二様

5、調査内容・所感等

①松江市の「食と観光のアンテナショップ」開設に向けて、奥出雲アンテナショップ視察

松江市の総合戦略の中でも記されているように、松江市も首都圏での「食と観光を活かした首都圏アンテナショップ」を総合戦略として取り入れている。しかし 2017 年の現在から首都圏のアンテナショップについてはまだ未達成となっており、首都圏での食や観光の PR 拠点となる整備地が必要である。その中で、奥出雲町や鳥取県大山町が先進地として、民間の活力を取り入れながら首都圏での PR 戦略を行っている。松江市財政が限られている中で、首都圏での高負担なプロモーション活動を行政が直接的に行う事は非常に以下の面から非常に不合理である。

以下、首都圏のアンテナショップを行政が行う事へのデメリットである。

- 1、首都圏、人が多いと言っても過度の競争相手が存在する首都圏でノウハウがない行政が運営を行う事へのリスク。
- 2、首都圏でのプロモーション活動拠点を持つことによる維持管理費など運営費問題
- 3、限られた財政の中での財源の捻出

こういった諸条件を考え、今回先進地となる奥出雲町の東京のアンテナショップ「奥出雲×島根県」の視察を行ったものである。調査として、ショップの運営については、島根県内に本社があり、全国に数多くの飲食業態を展開する「かばハウス」が運営している。

奥出雲町役場への事前ヒアリングでは、以下のことで非常に良い意味で進んでいるという事であった。

- 1、3 年間で 750 万円という拠出で、プロモーション部分 (面積割) の店舗部分について補助を行って

いる。

- 2、非常にお店自体は人気となっていて、2店目という事もかばハウスとは話が出始めている。
- 3、初期のインシャルコストについては奥出雲町行政として支出することなく、首都圏にアンテナショップが持てたことは非常に効果として大きいと考えている。

この点を踏まえた上で、別途、公務で出張中であつた松江市職員と現地で合流し、視察を行ったものである。現地での報告は以下である。

- 1、食材はもちろんであるが、奥出雲町の木材などが随所にデザインと同時にちりばめられ、食材のPRだけでなく、松江の様々な産品が活用素材になると感じた。例えば、安部栄四郎の和紙や、来待石などがそうである。
- 2、また木材をPRする横田工芸は、年に必ず東京での商談会を年100万円ぐらいかけて行っており、それがこのショップができた事により、年間100万円の東京での販路開拓費や会場費などが大きく削減されて喜ばれているとの事であつた
- 3、また食部門だけでなく、米や奥出雲町の名産品などの、物品の販売スペースは非常に好調であり、これだけのものを首都圏での場所の確保を考えると、物品の利益率が非常に悪いことから、この部分は行政が非常にやりづらいつころだが、このショップでは、アイパッドなどを店内に置くことにより、インターネット販売において導き、奥出雲町の地産品の産業振興に結びついている。

以上のことから、松江市でのこのスタイルは非常に効果的であり、現在の東京はオリンピック好景気で立地等の問題、また松江市として和食をテーマにした店舗運営の可能性があるのでないかと考察でき、今後も引き続いて、関係者と協議しながら首都圏での「食と観光のアンテナショップ」について進めていきたい。

②島根県東京事務所と連動した政策における政策要望について

2017年9月議会で要望した「観光まちづくり総合戦略」、「定住対策」「ふるさと納税」、12月議会で提案をしようとしている「就学前教育事業」について要望を行った。観光まちづくりについては、島根県や国交省における所管事業として、松江の観光まちづくりビジョンへに対しての国交省や島根県への支援のお願い、また定住対策についても9月議会で島根県東京事務所などと連携して、誘致企業や人材獲得について行わなければならないと議会質問した事から、その旨の政策説明し、協力をお願いをしたものである。ふるさと納税も下記における教育特化型のふるさと納税についてトライをするので、ぜひとも東京松江会や島根県人会などの皆様にご協力を頂きたい旨をお願いした。また島根県東京事務所が国の官公庁に近いことからぜひとも、就学前教育は厚労省や文科省と省庁間の狭間の事業であることから、島根県にも各省庁や内閣府などにお話を頂いて、ご協力を得たいという旨を伝えた。対応車は吉山所長、土江氏との意見交換により有意義な政策共有ができたものとする。今後、12月議会や来年度予算に反映させるべく調整が続けていきたい。

③地産品のプロデュースについては、有名ブランド DOARAT のデザイナー・プロデューサーである徳永

氏と松江の特産品について意見交換した。理由としては以下である。

- 1、現在、出雲の出西窯は若者に人気を帯びているが、もともとはビームスというお店で取り扱った事からインフルエンスパromotionで人気が発的に広がったという事がある。今回、徳永氏と意見交換したことは、和紙、和菓子、お茶、湯町窯、袖師窯、また食の安全を活かしたブランド力のアップについて話あったものである。

徳永氏は、福岡の和菓子メーカーとタイアップし、独自の人脈とブランド力を強化し、フィラ等の大手メーカーを通じた福岡の和菓子メーカーのブランド力アップにも現在取り組んでおり、出西窯のように東京のブランドとのタイアップにより、島根県のブランド力をあげていくことができるものとする。今後、様々なチャンネルを通じて、島根への協力を依頼したものである。

(様式 1 - 1)

平成 2 9 年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号		
使途項目	資料購入費	
使途内容	書籍代	
調査年月日 (購入年月日)	平成 2 9 年 7 月 2 日 (日) ~ 平成 年 月 日 ()	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額	(うち政務活動費充当額)
	・ 書籍代 7,135 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円	7,135 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円
合計額	7,135 円	7,135 円
備考		

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

(様式1-2)

	<p>野津直嗣 様</p> <p>領 収 証</p> <p>2017年 7月 2日(日)</p>	
使 途	書籍代	
<p>【貼付欄】</p>	<p>野津直嗣 様</p> <p>上記正に領収しました(消費税等) ¥7,135-</p> <p>野津代とし ¥528-(を含みます)</p> <p>株式会社 未来屋書店 日吉店 TEL0859-37-0205</p> <p>※保管上のお願ひ 財布等で保管戴く場合 面を内側に折って保管願ひます。</p>	<p>野津直嗣 様</p> <p>上記正に領収しました(消費税等) ¥7,135-</p> <p>野津代とし ¥528-(を含みます)</p> <p>株式会社 未来屋書店 日吉店 TEL0859-37-0205</p> <p>※保管上のお願ひ 財布等で保管戴く場合 面を内側に折って保管願ひます。</p>
	<p>現計 (消費税等) ¥7,135-</p> <p>(消費税等) ¥528-(を含みます)</p>	<p>現計 (消費税等) ¥7,135-</p> <p>(消費税等) ¥528-(を含みます)</p>
	<p>2017年 7月 2日(日)</p>	<p>担当 者 XXXXXXXXXX</p> <p>0001-5661-8849</p>

- (注意)
- この用紙1枚につき、貼る場合は、本書の横
 - 領収書サイズがこのとおり」と記入し、

(様式1-2)

領収書貼付用紙

使 途 政務活動 書籍

【貼付欄】 領収金額 7 1 3 5 円 ■以下書籍内訳

○「愛着障害」 著作 岡田尊司

※教育問題に関する家庭内教育についての政務調査書籍（教育民生委員長）

○「発達障害」 著作 岩波明

※教育問題に関する家庭内教育についての政務調査書籍（教育民生委員長）

○「人生を破滅に導く介護破産」 著作 柰野暉尚

※介護問題に関する政務調査書籍（教育民生委員長）

○「欲をコントロールする方法」 著作 西多昌規

※経済至上主義・行動心理学に関する政務調査（6月議会質問関連）

○「日本列島創生論」 著作 石破茂

※地方創生に関する政務調査書籍（元地方創生担当相における国の考え方）

○「小さくても勝てる」 著作 平井伸治

※地方創生に関する政務調査書籍（鳥取県の地方創生政策に関する考え方）

○「新リーダー論」 著作 佐藤優・池上彰

※世界政治情勢分析（世界情勢からリーダーの在り方の考え方）

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【野津直嗣】

平成29年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号			
使途項目			
使途内容	山陰経済ウィークリー購読料 (平成29年7月~3月分)		
調査年月日 (購入年月日)	平成 29年7月1日 ~ 平成30年3月31日		
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	・	37800 円	28350 円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
合計額	37800	円	28350 円
備考	@3150円×9ヶ月(7月~3月) =28,350円		

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途	書籍代																																																												
<p>【貼付欄】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ご利用明細</p> <p>ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。</p> <p>年 月 日 毎度ご利用いただきありがとうございます。 29-09-20</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>取扱店番</td><td>機番</td><td>受付番号</td><td>取引</td><td>お取引内容</td> </tr> <tr> <td>0216</td><td>46</td><td>0150</td><td>I</td><td>振込</td> </tr> <tr> <td>銀行番号</td><td>支店番号</td><td colspan="3">口座番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">お取扱紙幣 万円 5千円 千円</td><td>お取扱硬貨</td><td colspan="2">お取引金額 ¥37800</td> </tr> <tr> <td>銀行使用欄</td><td>時刻</td><td colspan="3">お取引後の元帳残高</td> </tr> <tr> <td>505224</td><td>1119</td><td colspan="3">*****</td> </tr> </table> <p>ステーション1 フリコミサキ</p> <p>サンインチヨウオウシンホ°ウマツエミナサマハ ノツ ナオツク" サマヨリ</p> <p>TEL</p> <p><small>※この明細票はかならずお持ち帰りください。 山陰合同銀行 CD6-14C 21.0222(K)</small></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ご利用明細</p> <p>ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。</p> <p>年 月 日 毎度ご利用いただきありがとうございます。 29-09-20</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>取扱店番</td><td>機番</td><td>受付番号</td><td>取引</td><td>お取引内容</td> </tr> <tr> <td>0216</td><td>46</td><td>0150</td><td>I</td><td>振込</td> </tr> <tr> <td>銀行番号</td><td>支店番号</td><td colspan="3">口座番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">お取扱紙幣 万円 5千円 千円</td><td>お取扱硬貨</td><td colspan="2">お取引金額 ¥37800</td> </tr> <tr> <td>銀行使用欄</td><td>時刻</td><td colspan="3">お取引後の元帳残高</td> </tr> <tr> <td>505224</td><td>1119</td><td colspan="3">*****</td> </tr> </table> <p>ステーション1 フリコミサキ</p> <p>サンインチヨウオウシンホ°ウマツエミナサマハ ノツ ナオツク" サマヨリ</p> <p>TEL</p> <p><small>※この明細票はかならずお持ち帰りください。 山陰合同銀行 CD6-14C 21.0222(K)</small></p> </div> </div>		取扱店番	機番	受付番号	取引	お取引内容	0216	46	0150	I	振込	銀行番号	支店番号	口座番号			お取扱紙幣 万円 5千円 千円		お取扱硬貨	お取引金額 ¥37800		銀行使用欄	時刻	お取引後の元帳残高			505224	1119	*****			取扱店番	機番	受付番号	取引	お取引内容	0216	46	0150	I	振込	銀行番号	支店番号	口座番号			お取扱紙幣 万円 5千円 千円		お取扱硬貨	お取引金額 ¥37800		銀行使用欄	時刻	お取引後の元帳残高			505224	1119	*****		
取扱店番	機番	受付番号	取引	お取引内容																																																									
0216	46	0150	I	振込																																																									
銀行番号	支店番号	口座番号																																																											
お取扱紙幣 万円 5千円 千円		お取扱硬貨	お取引金額 ¥37800																																																										
銀行使用欄	時刻	お取引後の元帳残高																																																											
505224	1119	*****																																																											
取扱店番	機番	受付番号	取引	お取引内容																																																									
0216	46	0150	I	振込																																																									
銀行番号	支店番号	口座番号																																																											
お取扱紙幣 万円 5千円 千円		お取扱硬貨	お取引金額 ¥37800																																																										
銀行使用欄	時刻	お取引後の元帳残高																																																											
505224	1119	*****																																																											

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 野津直嗣 】

請求書

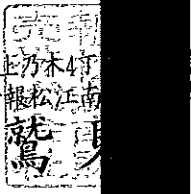
年 月 日

No. _____

野津直嗣

様

松江市 山陰中央新報
代表取締役



株式会社 隆

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額

37,800.-

税率

%

消費税額等

月日	品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)	摘要
1	山陰経済ウィークリー購読料	12	3150	37800	
2	(平成29年7月~平成30年6月分)				
3					
4					
5					
6	振込先				
7	[Redacted]				
8	[Redacted]				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
合計				37800	

(様式 1 - 1)

平成 2 9 年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号	
使途項目	調査旅費
使途内容	フランス大使館による自治体海外研修セミナー、企業誘致について
調査年月日 (購入年月日)	平成 3 0 年 2 月 2 日 (金) ~ 平成 3 0 年 2 月 3 日 (土)
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額 (うち政務活動費充当額)
	・旅費 43,540 円 43,540 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円 ・ 円 円
合計額	43,540 円 43,540 円
備考	

議員名 【 野津直嗣 】

(様式 2)

旅 費 計 算 書

議員名 野 津 直 嗣

用務先	東京都										
用務内容	フランス大使館による自治体海外研修セミナー、企業誘致について(ソニー企業及び株式会社クリイカユニバーサル)										
出張期間 (出発及び帰市)	平成 30 年 2 月 2 日(金) ~ 平成 30 年 2 月 3 日(土)								(1 泊 2 日)		
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路程	運賃等	特別料金	日数	定額	日数	定額	
H30.2.2	金	松江市	東京	航空機 京急	28,520 410		1	2,200	1	10,900	パック料金
H30.2.3	土	東京 東京 松江市	東京 東京	京急 航空機	410 往路に含む		0.5	1,100			
航空賃: パック旅行利用(1泊朝食付き) 旅行代金 = パック旅行代金38,900円+(食事代1,100円) = 40,000円 往復航空賃 = 旅行代金40,000円 - 宿泊料10,900円 - 旅客施設使用料580円 28,520円(限度内) (限度額 57,800円)											
小 計					29,340		1.5	3,300	1	10,900	
合 計					43,540	円					

- 備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
 3. 変更は朱書すること。

※ 路程欄

2/2	出雲空港	→	羽田空港	→	品川駅	→	フランス大使館駅(用務地)	→	ソニー企業本社
	9:35発	JAL278	10:55着	京急	13:00	18:00	19:00	21:00	
2/3	宿泊地	→	品川駅	→	羽田空港	→	出雲空港		
		京急	7:25発	JAL277	8:55着				

研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

- 1、期 間 平成 30 年 2 月 2 日 (金) ～平成 30 年 2 月 3 日 (土)
- 2、会 場 等 ①フランス大使館 (港区青山・平成 29 年度第 4 回海外経済セミナー)
②ソニー企業 (中央区銀座・アニメーション映画誘致交渉)
- 3、調査項目等 ①フランスにおける自治体及び企業等の海外進出について
②島根・松江を舞台にしたアニメーション映画の誘致について
- 4、講師 (対応者) ①ブナコ株式会社・倉田氏、在日フランス大使館 綾部氏 他 5 名
②ソニー企業代表取締役・安彦氏、
株式会社クリティカユニバーサル代表取締役・四戸氏、専務・三島氏

5、調査内容・所感等

①フランス大使館において、松江市が海外インバウンドの中心と据える自治体及び企業等のフランス進出等の現状や課題、展望についてのセミナーに参加。全国全ての自治体に参加しており、フランスがインバウンドのインフルエンサーである事が理解できる。ただ闇雲にフランスへのプロモーションを行う事は、非常にリスクがあり、今回は参加者等におけるヒュミント (人的接触における情報活用) が調査の一つである。講師として参加していた富山の和紙職人の川原氏など、松江市での活動が多い方も多く、フランス大使館・クレアなどの人たちとの意見交換も大いに活用できるものであった。

また次の視察研修では、ソニー企業へ訪問し、ソニー企業代表取締役の安彦氏と、ジブリ・USJ・ディズニーランドなどと連携し仕事を行うクリティカユニバーサルの代表取締役の四戸氏、三島氏と、松江市のアニメーションを活かしたコンテンツツーリズムを確立するべく事前交渉及び国内外のアニメーションの現状を学んだ。これはフランス大使館でも注目度が高いと言われていたアニメーションを活かしたコンテンツツーリズムなどの「クールジャパン」戦略の一つである。フランスでもたくさんのファンがおり、松江市がインバウンド戦略の大切な一つである「コンテンツツーリズム」になりうるものと考えられる。それぞれの詳細は下記

- 1、フランス大使館のセミナーについては、別途資料のある様々な講師によるフランスの現状、当地フランスでの自治体などのチャレンジショップの現状、フランスのトレンド、また日本政府やクレアのフランス進出への支援などが説明された。しかし改めて感じたのはフランスへの進出のキーポイントとなるのは、やはり「ひと」の存在であり、フランスへの自治体プロモーションは、フランスへのプロモ

ーションは展開やフランスでの松江のシティブランドの確立については、首都圏の各大学の「フランス人」様々な「サークル活動」や団体などと連携する事が大事であると考え。近年の情報連鎖には、SNS などによる人の情報のつながりがインフルエンサー（情報用語で伝播）していく事が基本であり、「だれに」情報を届けたいか？と考えるためには、「だれが」情報を届けられるか？を考えなければならない。今後、日本、特に首都圏におけるフランスコミュニティへの関わり方を強化し、こういったセミナーにおける「手段」や「情報」、またフランスコミュニティに長けた人たちと情報交換をしながら、松江市もフランスへの戦略を進めていくべきである。

2、ソニー企業においては、プレイステーションバーチャルの開発者の一員でもあり、アニメーションを活用し、地域を巡るアプリ「聖地めぐり」を開発したカリスマエンジニアのソニー企業の代表取締役の安彦氏にお話を伺い、松江市への今後の協力を要請した。安彦氏は「聖地めぐり」アプリを開発する時にクラウドファンディングで10億円を一人で集め、会社を設立した人物である。安彦氏が率いるソニーのプレイステーションバーチャルは海外に特に人気が高く、海外のひとはすでにソニープレイステーションバーチャルを保持しており、情報を届けるには最高のコンテンツである。

そして、株式会社クリティカユニバーサルのお二人、四戸、三島の両氏は、ジブリやUSJやディズニーなどの空間制作を統括して行う会社であり、今回はクリティカユニバーサルのお二人から2020年に島根県・松江市を舞台とした「神在月」にちなんだ長編アニメーション映画の制作に取り掛かりたいとの意向があり、話を聞いてきた。アニメーションは国内外はもちろん、近年の「君の名は」で知られるように、通常の映画のように、熱烈なファンにとっては、現地ロケーションを訪れるという現象が生まれ、それを具現化しているのが、ソニー企業の安彦氏が開発しているアプリ「聖地めぐり」である。こういったアニメーションを活かした観光や地域活性化は「コンテンツツーリズム」と呼ばれ、地域活性化の一翼を担っている。もし島根県松江市が舞台となる長編アニメーション映画が展開されれば、あらゆる意味で波及効果が高いと考える。波及効果が高いものとしては、①アニメーションファンの観光客の増加 ②松江市のシティブランド力及び認知度の向上 ③シティプロモーションへの活用 ④出演者や出演地域における地域活性化 ④アニメーションを活かした松江市独自の文化教育 など多くの可能性が望まれるものである。松江市にとって実現をすべきテーマであり、今後、これを市長部局に伝え、しっかり実現に向けてコーディネートしていきたい。※2018年3月16日に松江市役所で松浦市長及び観光振興部長、地域振興課（ジオパーク担当）、秘書広報課と意見交換会を実施。市としても協力の意向を確認。

(様式1-1)

平成29年度 政務活動費使用簿 (議員)

管理番号		
使途項目	調査旅費	
使途内容	陸前高田市視察	
調査年月日 (購入年月日)	平成29年10月31日(水) ~ 平成29年11月1日(木)	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】 支出額	(うち政務活動費充当額)
	・旅費 87,700 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円 ・ 円	6,285 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円
合計額	87,700 円	6,285 円
備考	宿泊費分のうち6,285円分を充当	

議員名 【 野津直嗣 】

領収書貼付用紙

使 途										
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;"> <p>ご搭乗券 BOARDING PASS</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>407002872</p> </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">ノツ ナオツグ様</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">行先 DESTINATION 大 阪 OSAKA</td> <td style="width:30%;">便名 FLIGHT JAC2342</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%; text-align: right;">047</td> </tr> </table> <table style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">搭乗口 GATE 1</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">出発時刻 DEP. TIME 08:45</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">搭乗日 DATE 10/31</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">座席 SEAT 3A</td> <td style="width:40%; text-align: right; vertical-align: middle;">運航 operated by JAL</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">保安検査場／搭乗口でバーコードをかざしてください。 SCAN THE BARCODE AT SECURITY CHECK AND GATE.</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>保安検査場は15分前までに通過してください。 マイル受付済 THRU1 JL2183 HNA</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">TF0W7</p>		行先 DESTINATION 大 阪 OSAKA	便名 FLIGHT JAC2342		047	搭乗口 GATE 1	出発時刻 DEP. TIME 08:45	搭乗日 DATE 10/31	座席 SEAT 3A	運航 operated by JAL
行先 DESTINATION 大 阪 OSAKA	便名 FLIGHT JAC2342		047							
搭乗口 GATE 1	出発時刻 DEP. TIME 08:45	搭乗日 DATE 10/31	座席 SEAT 3A	運航 operated by JAL						
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;"> <p>ご搭乗券 BOARDING PASS</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>407002872</p> </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">ノツ ナオツグ様</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">行先 DESTINATION いわて花巻 IWAHANAKI</td> <td style="width:30%;">便名 FLIGHT JAL2183</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%; text-align: right;">037</td> </tr> </table> <table style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">搭乗口 GATE 15</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">出発時刻 DEP. TIME 10:40</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">搭乗日 DATE 10/31</td> <td style="width:15%; border: 1px solid black; text-align: center;">座席 SEAT 7K</td> <td style="width:40%; text-align: right; vertical-align: middle;">運航 operated by JAL</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">保安検査場／搭乗口でバーコードをかざしてください。 SCAN THE BARCODE AT SECURITY CHECK AND GATE.</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>保安検査場は15分前までに通過してください。 マイル受付済 ARR JN2342 120</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">TF0W1</p>		行先 DESTINATION いわて花巻 IWAHANAKI	便名 FLIGHT JAL2183		037	搭乗口 GATE 15	出発時刻 DEP. TIME 10:40	搭乗日 DATE 10/31	座席 SEAT 7K	運航 operated by JAL
行先 DESTINATION いわて花巻 IWAHANAKI	便名 FLIGHT JAL2183		037							
搭乗口 GATE 15	出発時刻 DEP. TIME 10:40	搭乗日 DATE 10/31	座席 SEAT 7K	運航 operated by JAL						

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 野津直嗣 】



ご搭乗券
BOARDING PASS

407062872

ノツ ナオツグ様

行先 DESTINATION
出雲
IZUMO

便名 FLIGHT
JAL2357

006

搭乗口
GATE
23C

出発時刻
DEP. TIME
17:30

搭乗日
DATE
11/1

座席
SEAT
3A

運航
operated by JAL

保安検査場／搭乗口でバーコードをかざしてください。
SCAN THE BARCODE AT SECURITY CHECK AND GATE.



保安検査場は15分前までに通過してください。 マイル受付済
ARR JL2186 HNA

TFOW7



ご搭乗券
BOARDING PASS

407062872

ノツ ナオツグ様

行先 DESTINATION
大阪
OSAKA

便名 FLIGHT
JAL2186

054

搭乗口
GATE
3

出発時刻
DEP. TIME
15:35

搭乗日
DATE
11/1

座席
SEAT
3A

運航
operated by JAL

保安検査場／搭乗口でバーコードをかざしてください。
SCAN THE BARCODE AT SECURITY CHECK AND GATE.



保安検査場は15分前までに通過してください。 マイル受付済
THRU JL2357 IZO

TFOW1

(様式 2)

旅 費 計 算 書

議員名 野 津 直 嗣

用務先	岩手県陸前高田市										
用務内容	被災地の現状視察、防災に関するまちづくり、防災対策、震災以後のまちづくり 移住者及び学生を活かしたまちづくり、地域連携、都市交流										
出張期間 (出発及び帰市)	平成 29 年 10 月 31 日(火) ~ 平成 29 年 11 月 1 日(水)								(1 泊 2 日)		
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額	
				km			日	円	日	円	
H29.10.31	火	松江市	花巻市	航空機	13,100		0.5	1,100	1	10,900	乗継割引
		花巻市	花巻市	航空機	24,200						
H29.11.1	水	花巻市	花巻市	航空機	24,200		0.5	1,100			乗継割引
		花巻市	花巻市	航空機	13,100						
		松江市									
小 計											
					74,600		1.0	2,200	1	10,900	
合 計					87,700	円					

- 備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
 3. 変更は朱書すること。

※ 路程欄

10/31	出雲空港	→	伊丹空港	→	花巻空港	→	陸前高田市	→	宿泊先
	8:45発 JAC2342		9:35着	10:40発 JAL2183	12:00着		公用車	13:00	17:00
11/1	用務地	→	NPO法人SET	→	花巻空港	→	伊丹空港	→	出雲空港
	公用車		9:00	11:00	15:35発 JAL2186	17:10着	17:30発 JAC2357		18:15着

研究研修、調査 報告書

議員名 野津直嗣

- 1、期 間 平成29年10月31日(水)～平成29年11月1日(木)
- 2、会 場 等 陸前高田市・陸前高田市役所
- 3、調査項目等 被災地の現状視察・防災に関するまちづくり・防災対策・震災以後のまちづくり
移住者及び学生を活かしたまちづくり・地域連携・都市交流
- 4、講師(対応者) ①鳥羽・陸前高田市長
②NPO 法人マルゴト陸前高田(被災地の現状視察)
③NPO 法人SET(地域における都会地の学生を活かした地域活性化)
④特定非営利活動法人高田暮舎
- 5、調査内容・所感等

①鳥羽陸前高田市長との面会では、東日本大震災における陸前高田市の被災状況を聞いた。鳥羽市長は防災における現在の科学的予報がいかに信用性が低く、科学予報が万能ではないという事を言っておられた。多くのひとが犠牲になった陸前高田市では、震災前、防災対策訓練はいつか来る津波のためにしっかりとやっていた。しかし多くの科学的予報は1メートル～3メートルの津波予報であり、市役所も一階の入り口まで水が来るか来ないか程度の認識であったと言われていた。しかし実際に来た津波の高さは15メートルで市役所の3階にまで至るものであった。防災には「空振りはいいが、見逃し三振」は許されないという危機管理の鬼と言われた後藤田元官房長官の発言を思い出した。また奥様も津波で亡くなられている中で、その腫の奥底には、復興からここまで立ち上がってきた一人の政治家としての強さ、また市民の生活を本当に担ってきたという強い自負が感じられ、政治を司るものとして身が引き締まる思いだった。また市長として、松江市も職員派遣をしており、それについての感謝の弁を述べておられ、陸前高田市としても優秀な職員さんで非常に感謝しているとの言葉ももらった。

②マルゴト陸前高田の取組みでは、被災地を案内してもらい、現場での被災がいかに悲惨であったかを震災遺構などに許可を得て入らせて頂き視察を行った。多くの県外の移住者が非常に頑張っており、また東日本大震災という大きな傷跡が残る中で、後世に「大切な記憶」を伝えていこうとするマルゴト陸前高田の取組みには感銘を受けた。言葉を変えれば、一つの「体験型」の取組みであり、多くの陸前高田市を訪れる人に感じてもらいたいとの事であった。形は違えど、松江市でもこういった逆転の発想による「伝え方」はできるのではないか?との思いがあった。例えば「地域をめぐるツアー」もしっかりコンセプトを持って行えば、「体験型」「経験型」のツアーになるのであり、こういった取組みは非常に参考になった。

③NPO 法人 SET の取組みとして、首都圏の学生を取り込んだ地域活性化を非常によく行っていた。仕組みとしては

- 1、学生に地域インターンシップで来てもらう→地域で学ぶ→地域で交流をする→地域の高齢者の方々を元気にする。
- 2、学生たちから参加料を取ることで、学生たちもボランティアではなく、参加する意識となっていた。
- 3、都会地の学生の人生的欲求と、地域の個性を非常に上手に組み合わせた非常に素晴らしい取組みであった。

松江市でいうと、島根町程度の範囲で島根町をモデルにして行っても良いのではないかと考えた。施策立案のポイントとして、

- 1、都会地でキーマン一人を獲得する（地域おこし協力隊制度の活用）
- 2、まずそのキーマンを見つける作業を、この NPO 法人 SET さんにご協力願う。
- 3、NPO 法人 SET の伴走型アドバイジング事業を経て、学生などの誘致活動を推進。

こういったプロセスを経て、松江市でも事業展開は非常に可能だと考える。

④特定非営利活動法人高田暮舎では、地域おこし協力隊のアドバイジング及びサポート事業を行い、さらに地産品の販売などを行っていた。松江市でも地域おこし協力隊のサポーティングをしているが、松江市をモデル事業にして、こういった取組みを進めているとの事だった。こういった人材育成についても、被災地という在る一種「無くなった地域」だからこそ「新しい息吹」が生まれる素地になったのだと考える。